

平成28年度 学校評価【前期】

学校名(京都市立大枝中学校)

・個別評価項目の設定及び各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定			
分野	評価項目	(前年度評価を踏まえた) 自校の取組	(取組結果を検証する) アンケート項目・各種指標
確かな学力	授業改善	・学習確認プログラムの結果分析と研修会の実施 ・授業研究を年間5回実施 ・公開授業週間を年間2回設定	・「教科の授業がよく分かる」(アンケート項目) ・学習確認プログラムの結果 ・生徒の話す・聞く態度の変容
	家庭学習の習慣化	・週末課題の設定(定期的なワークシートの配布と点検) ・学年・学級だより等による啓発活動	・週末課題の達成状況 ・「平日は授業以外に平均何時間勉強していますか」(アンケート項目)
	コミュニケーション能力の育成	・すべての教科でグループ活動を取り入れ、他者との意見交流を中心とした言語活動の充実を図る。	・「他の話を聞く」・「自ら進んで発言する」(アンケート項目) ・生徒の話す・聞く態度の変容
豊かな心	「公共の精神」に基づく態度の育成	・全校一斉クリーンディを年3回実施 ・保護者・地域とのクリーンキャンペーンの実施	・「学校行事や学級の取り組みに積極的に参加していますか」・「きまりを守っていますか」(アンケート項目)
	豊かな心の育成	・道徳年間授業計画に沿った指導、および「大枝つながりプログラム」の実施	・「いじめを許さない仲間づくりができていますか」・「自分や人を大切にしていますか」(アンケート項目)
健やかな体	自他を大切にできる態度の育成	・基本的生活習慣の確立に向け、早寝・早起き・朝ごはんの呼びかけをおこなう	・「規則正しい生活ができていますか」・「ベル着を守るなど時間を大切にしていますか」(アンケート項目)
	体力の向上	・運動を通じて体力を増進することを目指して、球技大会や体育行事への積極的な参加を呼び掛ける	・体力調査の結果
独自の項目	開かれた学校づくり	・継続的なホームページの更新 ・PTAや地域に対する情報発信(各種たよりや広報物)	・学校ホームページへのアクセス数の推移 ・「学校の様子がよく分かる」(アンケート項目)



・アンケート実施結果、 その他指標の結果について整理	自己評価	
	評価日	平成28年10月24日
	評価者・組織	企画委員会
アンケート結果・各種指標結果	分析(成果と課題)	分析を踏まえた改善策
・「教科の授業がよく分かる」はH27後期81%と変わらず。 ・学習確認プログラムの結果はH27後期に比べて2年生が指数+2P、3年生は-2P。	・アンケートは教科によっての差が見られる。 ・学Pでも教科による差があり、特に理科の学力向上が課題。	・「授業の目当て」と「本時の振り返り」の徹底。 ・学P結果分析から課題を明確にし指導改善を図る。
・「家庭学習の習慣が身についていますか」についてH27後期に比べて-3P。	・ここ数年来の課題である。通塾率が高い反面、塾以外での家庭学習が十分定着していないことが伺える。	・週末課題の設定(定期的なワークシートの配布と点検)を教科まかせにせず、学年として計画的におこなう。
・「班活動をしっかりしている」はH27後期94%と変わらず。 ・どの教科においても、活発な意見交流が行われている。	・過去5年間継続して生きた「学びの共同体」実践の成果と思われるが、「他の話を聴く力」には課題が見られる。	・ペアワークの充実を図った上での班活動へと、3学年を見通したグループワークのガイドラインを作成する。
・「約束事や決まりを守る」は94PでH27後期に比べて+1Pとやや向上。	・「学校行事や学級の取り組みに積極的に参加している」は79PでH27後期に比べて-7P。学校祭実施前であったとしても課題が残る。	・生徒会活動の充実を図るとともに、委員会活動や学級での係活動を学年間で共有化していく。特に「清掃活動」での新たなシステムを検討。
・「人を大切にしている」は97PでH27後期に比べて+3P。 ・「いじめを許さない仲間づくりができていますか」は92PでH27後期に比べて+6P。	・生徒会活動を中核とした「いじめ0」の取り組みが着実に成果をあげている。クマナ分析と活用に関する課題がある。	・生徒会の取り組みを今後も継続していくとともに、ソーシャルスキル向上を目指した「つながりプロジェクト」を見直していく。
・「規則正しい生活ができていますか」はH27後期に比べて+6P。	・「ベル着を守るなど時間を大切にしている」は91PでH27後期とほぼ変わらず。全体として落ち着いた学校生活を送れている。	・朝の登校指導を今後も継続するとともに、保健室とも連携し、基本的生活習慣の確立に協力してもらうことが重要。
・球技大会や体育行事への積極的な参加が見られる。 ・体力調査の結果はおおむね良好。	・グラウンドや体育施設に恵まれ、体育的行事や部活動の充実によって、体力の向上が図れていると考えられる。	・行事の精選とともに、生徒の自主的な企画、運営による体育行事を実施し、意識の向上を図る。
・「学校の様子がよく分かる」は保護者アンケートの結果93PでH27後期とほぼ変わらず。	・学校ホームページへのアクセス数の推移は昨年度年間集計72,014に比して10月25日現在49,161と着実に伸びている。	・学校だよりや学年だよりの充実とともに、今後はPTAや地域への広報ツールをさらに拡充していく。



学校関係者評価	
評価日	平成28年10月26日
評価者(いずれかに○)	学校運営協議会 学校評議員
学校関係者による意見	学校運営協議会・ 学校評議員による 改善に向けた支援策
・生徒が授業等で分からないことを、教員に気軽に聞ける関係づくりが大切。 ・学習環境の整備をどのように行っていくかが課題。	・授業参観や公開授業、休日参観での関わりを通して、授業改善に向けた助言を行っていく。
・家庭学習については、家庭の教育力の影響もある。 ・家庭でくつろぎが、学習習慣により影響を与えている。	・PTA活動や地生連での取り組みを通して、学習習慣が身につく環境作りを各家庭に呼び掛ける
・生徒の書いたチャレンジ体験学習等のレポートでは、感じたこと素直に表現して本音でまとめることができている。	・外部講師による授業をさらに充実させるため、年間を通したプログラムづくりに協力する。
・3年生が行っている保育園での交流学習を通して、園児との係わりが豊かな心が育てている。	・交流学習や外部講師による実習授業など、さまざまな学習機会を生み出すため、地域として生徒を積極的に受け入れていく。
・縦割りグループの活動を今後も増やしていくのはどうか。特に、体育祭での縦割り種目や縦割り清掃などを増やしてほしい。	・地域での様々な活動への生参加を促し、大人も含めた「縦割り活動」を通して人と人のつながる場面を増やしていく。
・学校が保護者との連絡を密に取り、家庭生活の改善・基本的生活習慣の確立に協力してもらうことが重要。	・家庭教育学級等に参加してもらえるよう、地域や保護者に積極的な呼びかけを行い、保護者啓発を行う。
・恵まれた施設環境を有効に活用し、今後も体力増進に努めてほしい。	・区民運動会等の地域行事へ、生徒の積極的な参加を促す取り組みを行う。
・学校で取り組んでいる新たな取り組みや成果をもっと積極的にPTAや地域に発信することで、多くの方々に知ってもらうことが大切。	・学校から発信された内容を受け、地域として何を支援することができるかを具体的に考え、助言していく。